
一般財団法人東京2025世界陸上財団の設立時理事会の開催結果について

2025年に東京で開催する世界陸上競技選手権大会の運営組織として、本日、一般財団法人東京2025世界陸上財団の設立時理事会を開催しました。

理事10名、監事2名の全員が出席し（一部オンラインにより出席）、理事の互選により尾縣貢理事を代表理事（会長）に選定しました。また、世界陸上を通じて達成したいことや組織のあり方等、世界陸上財団の運営の方向性について確認しました。

なお、世界陸上財団は、2023年7月4日（予定）の登記をもって一般財団法人として設立されます。

以上、お知らせします。

【設立時理事会の開催結果】

- ・日時：2023年6月30日（金） 16時から17時まで
- ・場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 会議室8
東京都新宿区霞ヶ丘4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階
- ・内容：一般財団法人東京2025世界陸上財団設立時代代表理事の選定について
→資料1参照
東京2025世界陸上財団 運営の方向性について
→資料2参照

（参考1）大会運営組織の概要

- ・組織名称：一般財団法人東京2025世界陸上財団
- ・設立者：公益財団法人日本陸上競技連盟
- ・登記予定日：2023年7月4日（登記をもって一般財団法人となります）

（参考2）東京2025世界陸上競技選手権大会の概要

- ・主催：ワールドアスレティックス（WA、世界陸連）
- ・大会期間：2025年9月13日から21日まで
- ・会場：東京・国立競技場（マラソン、競歩は都内での実施を予定）
- ・選手数：約2,000人
- ・参加国・地域数：約210か国・地域

*大会名の日本語表記は今後、財団の定款の記載に則り「東京2025世界陸上競技選手権大会」、通称は「東京2025世界陸上」とします。

■東京 2025 世界陸上財団会長 尾縣 貢（おがた・みつぎ） コメント

世界中から集結したトップアスリートが大声援の中で躍動する姿は、多くの人々に感動や元気を届けることでしょう。それが、広く都民・国民にスポーツの魅力や真価を伝えるとともに、東京 2020 大会のレガシーを継承していくことにつながっていきます。

また、東京 2020 大会後の新しいスポーツ界の創出に向かって世界陸上がリードしていけるよう、新しい国際競技大会のモデルを創り上げていきたいと考えています。そのためには、大会を準備し運営していく組織がガバナンスの効いた健全なものでなくてはなりません。新たに設立する財団は、都民・国民の皆様のご理解、ご支援を得て世界陸上を開催することを目指してまいります。

■ワールドアスレティックス（WA）会長 セバスチャン・コー氏 コメント

“The Tokyo World Championships reached a significant milestone today with the Founding Board Meeting of the Local Organising Committee. We awarded the 2025 World Athletics Championships to Tokyo because we have faith in the local authorities to deliver a brilliant event and to do so with a clear structure of governance. This is an important step towards that goal. We also want to see the National Stadium that was constructed for the Tokyo 2020 Olympic Games finally used as it was designed to be and filled with a passionate crowd cheering on the best athletes in the world. There will be no better way to celebrate 100 years of our sport in Japan, as the Japanese Association of Athletics Federations (JAAF) marks its centenary in 2025. We further trust that the World Athletics Championships Tokyo 25 will inspire the people of Japan to continue chasing their own hopes and dreams.”

（参考和訳）

東京 2025 世界陸上競技選手権大会は、本日、大会運営組織である東京 2025 世界陸上財団の設立時理事会を開催し、重要な節目を迎えました。

ワールドアスレティックスが 2025 年の世界陸上競技選手権大会の開催地を東京に決定したのは、地元の大会運営組織が素晴らしい大会を、ガバナンスが確保された信頼し得る体制で実現できると確信していたからです。今日はその目標に向けた重要な一歩となりました。

また、私たちは東京 2020 オリンピック競技大会の会場として造られた国立競技場が、熱狂的な観客で埋め尽くされ、世界最高峰のアスリートに声援を送るという、本来期待されていた光景を東京 2025 世界陸上で見たいと願っています。日本陸上競技連盟は 2025 年に創立 100 周年を迎えます。その記念すべき年を祝福するにも、これ以上の方法は考えられません。

東京 2025 世界陸上、日本の人々に夢と希望を追い続ける勇気を与えてくれると確信しています。

【添付資料】

- ・一般財団法人東京 2025 世界陸上財団役員等名簿（資料 1）
- ・東京 2025 世界陸上財団 運営の方向性（資料 2）
- ・東京 2025 世界陸上財団 役員等行動規範（案）（資料 3）
- ・誓約書（案）（資料 4）

※設立時役員等の選任に関する資料一式は以下のページに掲載しますのでご覧ください。

<https://www.jaaf.or.jp/tokyo2025wch-foundation/>

